

## いざという時、命を守る自信ありますか？

"豊島区防災ビデオ『地震ある？自信ない？～豊島区民防災事始め～』が完成！"

1月の阪神・姫路大震災を教訓に豊島区では緊急災害点検調査委員会を設置し、全庁的に従来の防災対策の見直しを行っているところである。

これまでも防災意識の啓発事業として、広報紙誌やパンフレット、防災地図の発行などを行ってきたが、緊急災害点検調査委員会の報告を受け、身近なところから防災に対する関心が高まるようにと、区広報課では先の震災の記憶がさめないうちに4月から防災ビデオを製作を開始し、このほどそのビデオ『地震ある？ 自信ない？～豊島区民防災事始め～』が完成した。(製作費 約460万円) 阪神・姫路大震災からちょうど半年たった7月17日より貸出しを始める。

このビデオは、これまで他の自治体が製作しているものとは違い、内容が平易で、大人から子どもまで、幅広い視聴者を対象としている。また、広く活用してもらうため地域防災組織(131か所)、商店街(104か所)、区立小・中学校(42校)にそれぞれ配布し、さらに防災が区民全般に特別なことではなくて、身近なものとして捉えられることをねらい、区が主催する事業で直接防災に関係ない事業の中でも、時間を作って参加者に見てもらおうよう区をあげてPRをしていく。

貸し出しは、出張所、図書館、体育館、社会教育会館、青年館、勤労福祉会館、エポック10(男女平等推進センター)、情報公開コーナー、広報課広報係の合計34か所で行う。

### [内容]

豊島区内在住のある家族を主人公に、ふだんの生活の中で、できることから防災準備をしていく過程を物語の軸にして、震災時の区民の行動として大切な「命を守る」「初期消火」「街を守る」といった流れを、震災地・神戸でのり災者の声を生かしつつ、生活感のある映像で描いた作品。約17分。

### [作品の特徴]

#### ・作品の構成

今回の阪神・淡路大震災で痛感したのは、行政の対応がすぐ機能しなかったように、震災直後は区民ひとりひとりの対応がとても大切であること。その意味でほかの防災ビデオにありがちな「行政がこれだけのことをしているので安心です」というようなユートピア的映像よりも、震災時における区民の役割を具体的な形で見せる方に力点を置いた。

また、悲惨な映像に重々しいナレーションでは見ている人には長時間は辛いので、何度でも見ていただける様に、軽快なテンポとユーモアを交えた映像に仕上げた。

#### ・作品の内容

これまでの防災ビデオのように、優等生のような「満点防災の方法（あれも用意、これも用意というように一度に防災準備すること）」ではなく、日常生活から行えるものにとどめることで、もっと現実的な、次第に理想に近づけようといった増点主義的な防災準備を提言している。

震災時、消火器は必要だが、身近に消火器が見当たらなくても、ちょっとした機転で、小さい火ならば消せるという例として、冷蔵庫に眠っているキャベツや、ビール、あるいは家庭にあるシーツ、蓐等を使った初期消火のユニークな方法を紹介している。

北区のいくつかの自治会と豊島区のいくつかの町会がいざという時に助け合おうと、区を越えておつきあいをするようになったエピソードをからめながら、地域のユニークな防災活動を描いている。例えば『出前防災訓練』。“防災訓練”というといつも決まった町会の役員しか出ないことに不満を持って、この町会では、町会役員の人が自ら四辻に出向いて、近所にいる人に声をかけ、消防署等の監督のもと、その場で消火器による訓練を実体験をしてもらおうというもの。このような防災を行政任せにするのではなく、地域区民が独自に意識を持って取り組む姿勢を描いてみた。

#### ・製作してみた

区民の立場にたった防災ビデオなので、実際に区民の方々に多数参加して演技していただいた。予想以上にノリがよく、監督が舌を巻くほど演技がうまいので、台本の中身が次第に変化してしまう始末だった。それだけに見ていてとても自然で、身近に感じる違和感のない映像になったと思う。

神戸市の東灘区、長田区の協力を得て、罹災された方を直接取材することができた。震災から少し経過したこともあり、当時よりも冷静に話せるとのことだった。ニュース報道等で震災地の惨状はかなり伝わっているものの、それを豊島区の防災に直接生かせる声が欲しかったので、ただ「震災時の話を聞く」というよりは、「震災の実感の湧かない豊島区民に向けてコメントやアドバイスをいただく」という趣旨でインタビューを試みた。例えば、豊島区は震災が起きると49.5%が火災により焼失する想定されるほど、火による二次災害が心配されているが、その意味で、類焼火災に見舞われた長田区の罹災者の声が生かされたのは大きい。

#### ・詳細 企画部広報課